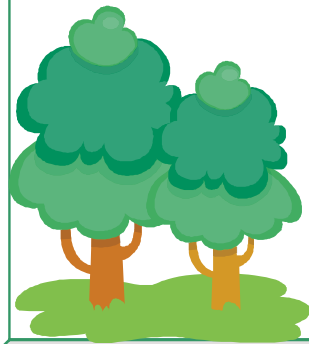


環境活動レポート

2013年度(2013年1月～2013年12月)

2014年 3月

株式会社 吉銘



— 目 次 —

1. 環境方針	P. 1
2. 事業活動の概要	P. 2
3. 環境目標	P. 3
4. 環境活動の実績と評価	
4－1. 全社	P. 4
4－2. サイト別	P. 5
5. サイト別の環境への取組状況および環境活動計画の内容と評価	
5－1. 本社・新住工場の活動内容	P. 6
5－2. 田原本工場の活動内容	P. 7
5－3. 五條工場の活動内容	P. 8
5－4. 特販部の活動内容	P. 9
5－5. 東京支店の活動内容	P. 10
5－6. 札幌支店の活動内容	P. 11
5－7. 福岡営業所の活動内容	P. 12
6. 環境関連法規への違反、訴訟等の有無	P. 13
7. 代表者による全体評価と見直しの結果	P. 13

1. 環境方針

< 基本理念 >

「大自然に感謝して、少しでも恩返しを」

< 行動指針 >

1. 大自然から受けた恩恵である木材を人間の知恵をもって最大限に余すことなく有効に利用し〈木を活かす企業〉として循環型の住みよい環境の実現を目指します。
2. 環境汚染を未然に防止すると共に、環境経営システムと環境パフォーマンスを自主的・継続的に改善できるように推進します。
 - ・二酸化炭素排出量の削減
 - ・廃棄物排出量の削減
 - ・総排水量の削減
 - ・化学物質の適正使用について維持管理
 - ・グリーン購入の推進
 - ・環境に配慮した原材料の使用を推進
3. 環境教育・訓練・社内広報活動の実施により、全ての従業員に環境方針を周知徹底すると共に、環境保全に関する知識・認識の向上を図ります。
4. 環境関連法令と当社が参加した協定等を遵守し、必要に応じて環境管理レベルの向上を図ります。

この環境方針は、社外の人にも公開します。

制定日 2005年 5月21日

改定日 2010年 1月27日

株式会社 吉銘

代表取締役社長 貝本 隆三

2. 事業活動の概要

①事業所名および代表者名

株式会社 吉銘
 本社(管理本部 ・ 新住工場)、田原本工場、五條工場
 特販部 ・ 東京支店 ・ 札幌支店 ・ 福岡営業所
 代表取締役社長 貝本 隆三

②所在地

本社 奈良県吉野郡下市町大字新住1118
 田原本工場 奈良県磯城郡田原本町大字味間436
 五條工場 奈良県五條市島野町485番地
 特販部 奈良県橿原市栄和町四反田4-1
 東京支店 東京都江東区東陽5-28-6 TSビル5F
 札幌支店 北海道札幌市北区新琴似8条2丁目1-11 上島ビル203号
 福岡営業所 福岡県福岡市東区多々津1-18-15

③環境保全関係の責任者および担当者連絡先

環境経営責任者 代表取締役社長 貝本 隆三
 EIA管理責任者 本社 勝村 貴志
 連絡先 TEL : 0747-52-4066
 FAX : 0747-52-4797
 E-mail : hinkan@yoshimei.co.jp

④事業規模(2013年度)

資本金 7200万円
 年商 (全社) 120億円
 主要製品生産量(3工場) 19130トン
 ・本社・新住工場:4130トン
 ・田原本工場:7598トン
 ・五條工場:7402トン
 従業員 (全社) 161名 (平成26年2月現在)
 (サイト別)・本社・新住工場:47名
 ・田原本工場:41名
 ・五條工場:51名
 ・その他部署:22名
 床面積
 ・本社・新住:13600m²
 ・田原本工場:5811m²
 ・五條工場:6337m²
 ・その他部署:4538m²

⑤事業内容

集成材の製造販売および住宅関連商品の販売

⑥沿革

昭和25年4月 貝本商店の創業
 (創業者、現取締役相談役 貝本 輝司)
 昭和28年4月 業界に先駆け集成材の製造販売開始(当社 元祖)
 昭和40年4月 吉野銘木製造販売(株)に法人組織化
 昭和45年1月 貝本木材工業(株)を新たに設立(株吉銘の前身)
 昭和50年6月 (株吉銘)に社名変更
 昭和52年7月 本社を橿原市に新築移転
 昭和52年9月 (株吉銘)福山を設立
 昭和55年9月 山陰営業所の開設
 昭和58年8月 福岡営業所の開設
 昭和58年9月 吉野郡大淀町に佐名伝工場を新設
 昭和59年10月 岡山営業所の開設
 昭和61年4月 吉野銘木製造販売(株)の集成材工場を製造部門として合併
 昭和62年3月 東京支店の開設
 平成 2年3月 資本金7200万円に増資
 平成 5年9月 全自動別注造材プレカットライン完成
 平成 6年2月 五條工場新設
 平成 6年9月 札幌営業所開設
 平成 7年2月 (株)東日本ウッドワークス中部設立
 平成 9年1月 桜井工場新設
 平成12年6月 ISO9002認証取得
 平成14年4月 田原本工場新設
 平成15年3月 貝本木業(上海)有限公司設立
 平成15年4月 ISO9001取得
 平成16年10月 本社を下市町新住に移転、製造部門と統合
 平成18年3月 本社(管理本部 ・ 新住工場)でエコアクション21の認証を取得
 平成20年3月 一部認証範囲を拡大(田原本工場および五條工場を追加)
 平成25年4月 認証範囲を全社に拡大

3. 環境目標

	全社合計				①本社・新住工場				②田原本工場				③五條工場			
項目	2012年	2013年	2014年	2015年	2012年	2013年	2014年	2015年	2012年	2013年	2014年	2015年	2012年	2013年	2014年	2015年
	基準	(44期)	(45期)	(46期)	基準	(44期)	(45期)	(46期)	基準	(44期)	(45期)	(46期)	基準	(44期)	(45期)	(46期)
二酸化炭素排出量 (kg-CO2/年)	1,742,413	1,710,108	1,677,154	1,601,499	647,024	625,672	603,673	538,971	534,049	528,709	523,368	518,028	477,424	472,650	467,876	463,101
	—	1.9% 削減	3.7% 削減	8.1% 削減	—	3.3% 削減	6.7% 削減	16.7% 削減	—	1.0% 削減	2.0% 削減	3.0% 削減	—	1.0% 削減	2.0% 削減	3.0% 削減
廃棄物排出量 (トン/年)	68.94	51.57	48.39	45.20	27.73	24.00	22.00	20.00	29.30	16.00	15.00	14.00	3.70	3.60	3.50	3.40
	—	25.1% 削減	29.8% 削減	34.4% 削減	—	13.5% 削減	20.7% 削減	27.9% 削減	—	45.3% 削減	48.7% 削減	52.1% 削減	—	2.7% 削減	5.4% 削減	8.1% 削減
総排水量 (m3/年)	11,742	11,508	13,741	13,178	4,774	4600	4500	4400	3,658	3,600	6,000	5,600	3,085	3085	3020	2960
	—	2.0% 削減	17.0% 増	12.2% 増	—	3.6% 削減	5.7% 削減	7.8% 削減	—	1.6% 削減	64.0% 増	53.1% 増	—	0.0% 削減	2.1% 削減	4.1% 削減
化学物質使用量 (t/t)	—	生産量あたりの接着剤の 使用量を維持			—	生産量あたりの接着剤の 使用量を維持			—	生産量あたりの接着剤の 使用量を維持			—	生産量あたりの接着剤の 使用量を維持		
グリーン購入 (件/年)	—	7件以上	14件以上	21件以上	—	1件以上	2件以上	3件以上	—	1件以上	2件以上	3件以上	—	1件以上	2件以上	3件以上
環境配慮製品の割合 (%)	—	化粧ばり造作用集成材の 原材料において認証材の 使用割合10%以上			—	化粧ばり造作用集成材の 原材料において認証材の 使用割合10%以上			—	—			—	—		

	④特販部				⑤東京支店				⑥札幌支店				⑦福岡営業所			
項目	2012年	2013年	2014年	2015年	2012年	2013年	2014年	2015年	2012年	2013年	2014年	2015年	2012年	2013年	2014年	2015年
	基準	(44期)	(45期)	(46期)	基準	(44期)	(45期)	(46期)	基準	(44期)	(45期)	(46期)	基準	(44期)	(45期)	(46期)
二酸化炭素排出量 (kg-CO2/年)	18,820	18,632	18,444	18,255	14,938	14,789	14,639	14,490	22,081	21,860	21,639	21,419	28,077	27,796	27,515	27,235
	—	1.0% 削減	2.0% 削減	3.0% 削減	—	1.0% 削減	2.0% 削減	3.0% 削減	—	1.0% 削減	2.0% 削減	3.0% 削減	—	1.0% 削減	2.0% 削減	3.0% 削減
廃棄物排出量 (トン/年)	4.00	3.92	3.88	3.84	1.00	0.98	0.97	0.96	2.42	2.30	2.28	2.25	0.79	0.77	0.76	0.75
	—	2.0% 削減	3.0% 削減	4.0% 削減	—	2.0% 削減	3.0% 削減	4.0% 削減	—	5.0% 削減	6.0% 削減	7.0% 削減	—	2.0% 削減	3.0% 削減	4.0% 削減
総排水量 (m3/年)	24.00	23.76	23.52	23.28	49.00	48.51	48.02	47.53	61.00	60.39	59.78	59.17	91.00	90.09	89.18	88.27
	—	1.0% 削減	2.0% 削減	3.0% 削減	—	1.0% 削減	2.0% 削減	3.0% 削減	—	1.0% 削減	2.0% 削減	3.0% 削減	—	1.0% 削減	2.0% 削減	3.0% 削減
化学物質使用量 (t/t)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
グリーン購入 (件/年)	—	1件以上	2件以上	3件以上	—	1件以上	2件以上	3件以上	—	1件以上	2件以上	3件以上	—	1件以上	2件以上	3件以上
環境配慮製品の割合 (%)	—	—			—	—			—	—			—	—		

※二酸化炭素排出量算定の排出係数：購入電力 2011年まで0.378(kg-CO2/kWh)を使用。2012年から関西電力0.45(kg-CO2/kWh) 東京電力0.464(kg-CO2/kWh) 北海道電力0.485(kg-CO2/kWh) 九州電力0.525(kg-CO2/kWh)を使用する。

4. 環境活動の実績と評価

4-1. 全社

2013年度			2012年	2013年										
			全社合計	目標	本社・新住工場	田原本工場	五條工場	特販部	東京支店	札幌支店	福岡営業所	全社実績	評価	
二酸化炭素 排出量	総量(kg-CO2/年)		1,742,413	基準年 対比 1.9%	648,311	519,179	598,570	20,873	12,489	16,736	26,609	1,842,768	総量において、目 標未達であるが生 産・販売量当りの 排出量においては 目標達成	○
	内訳	購入電力(kg-CO2/年)	1,464,443		583,552	483,831	397,526	15,741	3,699	5,889	7,790	1,498,029		
		化石燃料(kg-CO2/年)	277,970		64,759	35,348	201,044	5,132	8,790	10,847	18,819	344,739		
	基準に対する削減率(%)		－		－	－	－	－	－	－	－	－5.8%		
	生産量(販売量)(トン)		46,681		4,130	7,598	7,402	3,195	6,691	16,265	7,706	52,987		
	生産量当たり(kg-CO2/トン)		37		157.0	68.3	80.9	6.5	1.9	1.0	3.5	34.8		
	基準に対する削減率(%)		－		－	－	－	－	－	－	－	6.8%		
廃棄物排出 量	総量(トン/年)		68.89	基準年 対比 25.1%	27.3	50.5	6.8	8.0	1.2	2.1	0.3	96	総量において、目 標未達。生産・販 売量当りの排出量 において目標未達	×
	基準に対する削減率(%)		－		－	－	－	－	－	－	－	－39.7%		
	生産量(販売量)(トン)		46,681		4,130	7,598	7,402	3,195	6,691	16,265	7,706	52,987		
	生産量当たり		0.001		0.0066	0.0066	0.0009	0.0025	0.0002	0.0001	0.0000	0.0018		
	基準に対する削減率(%)		－		－	－	－	－	－	－	－	－23.1%		
総排水量	総量(m3/年)		11,742	基準年 対比 2.0%	4,865	3,787	4,222	27	51	41	100	13,093	総量において、目 標未達。生産・販 売量当りの排出量 においては目標達 成であるが基準年 より改善	△
	基準に対する削減率(%)		－		－	－	－	－	－	－	－	－11.5%		
	生産量(販売量)(トン)		46,681		4,130	7,598	7,402	3,195	6,691	16,265	7,706	52,987		
	生産量当たり(m3/トン)		0.252		1.178	0.498	0.570	0.008	0.008	0.003	0.013	0.247		
	基準に対する削減率(%)		－		－	－	－	－	－	－	－	1.8%		
化学物質	総量(トン/年)		278	生産量あたり の接着剤の使用 量を維持	22	186	47	0	0	0	0	255	生産量当たり使用 量が2012年を維持	◎
	3工場生産量(トン)		18,717		4,130	7,598	7,402	－	－	－	－	19,130		
	生産量当たり使用量(t/m3)		0.015		0.005	0.025	0.006	－	－	－	－	0.013		
グリーン購入	件数(件／年)			7件	1	1	1	1	1	1	1	7	目標達成	◎
環境配慮製品	化粧ばり造作用集成材用の 認証材総量(トン/年)		878	化粧ばり造作 用集成材の原 材料において 認証材の使用 割合10%以上	1030.0	－	－	－	－	－	－	1030.0	目標達成	◎
	化粧ばり造作用集成材用の 原材料総量(トン/年)		2,394		2499	－	－	－	－	－	－	2499		
	認証材使用割合(%)		36.7%		41.2%	－	－	－	－	－	－	41.2%		

※二酸化炭素排出量算定の排出係数：

購入電力 2012年まで0.378(kg-CO2/kWh) 2012年から関西電力0.45(kg-CO2/kWh) 東京電力0.464(kg-CO2/kWh) 北海道電力0.485(kg-CO2/kWh) 九州電力0.525(kg-CO3/kWh)

4. 環境活動の実績と評価

4-2. サイト別

		本社・新住工場				田原本工場				五條工場						
		2012年		2013年		2012年		2013年		2012年		2013年				
		(43期)	目標	実績	評価	(43期)	目標	実績	評価	(43期)	目標	実績	評価			
二酸化炭素 排出量 (電力+化石燃料)	総量(kg-CO2/年)	647,024	648,311	総量において、 基準に対する削減率(%)	△	534,049	519,179	総量において、目標 達成 生産量当りの排出量 においても目標未達	○	477,424	598,570	目標未達	×			
	基準に対する削減率(%)		3.3%			-0.2%				1.0%	2.8%				1.0%	-25.4%
	生産量(トン)	3,209	4,130			7,944	7,598			7,565	7,402					
	生産量当たり(kg-CO2/トン)	201.6	157.0			67.2	68.3			63.1	80.9					
	基準に対する削減率(%)		22.1%				-1.6%				-28.1%					
廃棄物排出 量	総量(トン/年)	27.73	27.3	総量において、 基準に対する削減率(%)	○	29.30	50.5	目標未達	×	3.70	6.8	目標未達	×			
	基準に対する削減率(%)		13.5%			1.4%	45.3%			-72.4%				2.7%	-83.8%	
	生産量(トン)	3,209	4,130			7,944	7,598			7,565	7,402					
	生産量当たり	0.009	0.007			0.004	0.007			0.00	0.00					
	基準に対する削減率(%)		23.4%				-80.2%				-87.8%					
総排水量	総量(m3/年)	4,774	4,865	総量において、 基準に対する削減率(%)	○	3,658	3,787	目標未達	×	3,085	4,222	目標未達	×			
	基準に対する削減率(%)		3.6%			-1.9%	1.6%			-3.5%				0.0%	-36.9%	
	生産量(トン)	3,209	4,130			7,944	7,598			7,565	7,402					
	生産量当たり(m3/トン)	1.49	1.18			0.46	0.50			0.41	0.57					
	基準に対する削減率(%)		20.8%				-8.2%				-39.9%					
化学物質	総量(トン/年)	21,560	21,76	生産量 あたりの 接着剤の 使用量 を維持	◎	220,970	186,31	目標達成	◎	35,880	46,96	目標未達	×			
	3工場生産量(トン/年)	3,209	4,130			7,944	7,598			7,565	7,402					
	生産量当たり使用量(t/t)	0.007	0.005			0.028	0.025			0.0047	0.006					
グリーン購入	件数(件/年)		1件	1件	目標達成	◎	1件	1件	目標達成	◎	1件	1件	目標達成	◎		
環境配慮製 品	化粧ばり造作用集成材用の 認証材総量(トン/年)		1030	化粧ばり造作用集成材の 原材料において 認証材の使用割合1 0%以上	◎	-	-	-	-	-	-	-	-			
	化粧ばり造作用集成材用の 原材料総量(トン/年)		2499			-	-			-	-					
	認証材使用割合(%)		41.2%			-	-			-	-					
						-	-			-	-					

		特販部				東京支店					札幌支店					福岡営業所					
		2012年 (43期)	2013年		評価	2012年 (43期)	2013年		評価	2012年 (43期)	2013年		評価	2012年 (43期)	2013年		評価				
		目標	実績			目標	実績			目標	実績			目標	実績			目標	実績		
二酸化炭素 排出量 (電力+化石燃料)	総量(kg-CO2/年)	18,820	20,873	総量において、 目標未達である が販売量当りの 排出量において は目標達成	○	14,938	12,489	目標達成	◎	22,081	16,736	目標達成	◎	28,077	26,609	目標達成	◎				
	基準に対する削減率(%)		1.0%			-10.9%				1.0%	16.4%				1.0%			24.2%		1.0%	5.2%
	販売量(トン)	2,604	3,195			5,446	6,691			12,750	16,265			7,164	7,706						
	生産量当たり(kg-CO2/トン)	7,226	6.5			2,743	1.87			1,732	1.03			3,919	3.45						
	基準に対する削減率(%)		9.6%				32.0%				40.6%				11.9%						
廃棄物排出 量	総量(トン/年)	4	8.0	目標未達	×	1.00	1.18	目標未達	○	2.42	2.15	目標達成	◎	0.79	0.28	目標達成	◎				
	基準に対する削減率(%)		2.0%			-100.0%				2.0%	-18.0%				5.0%			11.2%		2.0%	64.3%
	販売量(トン)	2,604	3,195			5,446	6,691			12,750	16,265			7,164	7,706						
	生産量当たり	0.0015	0.0025			0.0002	0.0002			0.000	0.0001			0.000	0.0000						
	基準に対する削減率(%)		-63.0%				4.0%				30.4%				66.8%						
総排水量	総量(m3/年)	24	27	総量において、 目標未達である が販売量当りの 排出量において は目標達成	○	49	51	総量において、目標 未達 販売量当りの排出量 においては目標達成	○	61	41	目標達成	◎	91	100	目標未達	×				
	基準に対する削減率(%)		1.0%			-12.5%				1.0%	-4.1%				1.0%			32.8%		1.0%	-9.9%
	販売量(トン)	2,604	3,195			5,446	6,691			12,750	16,265			7,164	7,706						
	生産量当たり(m3/トン)	0.009	0.008			0.009	0.01			0.005	0.00			0.013	0.013						
	基準に対する削減率(%)		8.3%				15.3%				47.3%				-2.2%						
化学物質	総量(トン/年)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
	生産量(トン/年)																				
	生産量当たり使用量(t/t)																				
グリーン購入	件数(件/年)		1件	1件	目標達成	◎		1件	1件	目標達成	◎		1件	1件	目標達成	◎					
環境配慮製 品	化粧ばり造作用集成材用の 認証材総量(トン/年)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
	化粧ばり造作用集成材用の 原材料総量(トン/年)		-			-	-			-	-			-							
	認証材使用割合(%)		-			-	-			-	-			-							
			-			-	-			-	-			-							

5. サイト別の環境への取組状況および環境活動計画の内容と評価

5-1. 本社・新住工場

		PLAN	DO	CHECK	ACTION																																				
二酸化炭素排出量削減	購入電力削減 目標 6.5%	○生産性向上による 購入電力の削減を図る ※本社・新住工場では二酸化炭素 排出量における購入電力の割合が 高く(2012年度 約88.4%)、購入 電力の削減が最も大きな課題である。	○多品種少量生産に対応すべく 切替時間の短縮を図る。 ○工場の照明の一部にLED照明を導入	削減目標 3.3% 活動の評価 ○ <table><tr><td>項目(単位)</td><td>2012年 (43期)</td><td>2013年 (44期)</td><td>削減率 (%)</td></tr><tr><td>購入電力(kwh)</td><td>1271634</td><td>1296783</td><td>-2.0%</td></tr><tr><td>二酸化炭素排出量(kg-CO2)</td><td>572235.3</td><td>583552</td><td>-2.0%</td></tr><tr><td>生産量(t)</td><td>3209</td><td>4130</td><td>—</td></tr><tr><td>二酸化炭素排出量/生産量</td><td>178.3</td><td>141.3</td><td>20.8%</td></tr></table> 昨年新規設備導入した設備の稼働が増えたため購入電力量が 昨年(2012年実績1271634kwh)より増加しましたが、生産量あたりの 二酸化炭素排出量は昨年より改善しています。	項目(単位)	2012年 (43期)	2013年 (44期)	削減率 (%)	購入電力(kwh)	1271634	1296783	-2.0%	二酸化炭素排出量(kg-CO2)	572235.3	583552	-2.0%	生産量(t)	3209	4130	—	二酸化炭素排出量/生産量	178.3	141.3	20.8%	○購入電力/生産量だけでなく、 購入電力による二酸化炭素排出量の総量に おいても目標を達成できるよう生産性を追及していく。 ○照明の省エネの拡大を検討																
	項目(単位)	2012年 (43期)	2013年 (44期)	削減率 (%)																																					
購入電力(kwh)	1271634	1296783	-2.0%																																						
二酸化炭素排出量(kg-CO2)	572235.3	583552	-2.0%																																						
生産量(t)	3209	4130	—																																						
二酸化炭素排出量/生産量	178.3	141.3	20.8%																																						
使用化石燃料削減 目標 47.8%	○「エコドライブ」を推進し、 アイドリングストップに努める。 ○電気式フォークリフトへの入替	○燃費の測定と運転手への省エネ運転の励行。 ○電気式フォークリフト1台入替導入 ○社用車をハイブリッド車に1台入替導入	削減目標 3.3% 活動の評価 ◎ <table><tr><td>項目(単位)</td><td>2012年 (43期)</td><td>2013年 (44期)</td><td>削減率 (%)</td></tr><tr><td>二酸化炭素排出量(kg-CO2)</td><td>74788.2</td><td>64758.9</td><td>13.4%</td></tr><tr><td>生産量(t)</td><td>3209</td><td>4130</td><td>—</td></tr><tr><td>二酸化炭素排出量/生産量</td><td>23.31</td><td>15.68</td><td>32.7%</td></tr></table>	項目(単位)	2012年 (43期)	2013年 (44期)	削減率 (%)	二酸化炭素排出量(kg-CO2)	74788.2	64758.9	13.4%	生産量(t)	3209	4130	—	二酸化炭素排出量/生産量	23.31	15.68	32.7%	○更なる省エネ運転・効率配送を目指し 改善に努める。																					
項目(単位)	2012年 (43期)	2013年 (44期)	削減率 (%)																																						
二酸化炭素排出量(kg-CO2)	74788.2	64758.9	13.4%																																						
生産量(t)	3209	4130	—																																						
二酸化炭素排出量/生産量	23.31	15.68	32.7%																																						
廃棄物削減	廃棄物の分別・再資源化 ○ダンボール ○鉄材 ○廃プラ 事務所関連廃棄物の削減 ○機密文書の再資源化 目標 20.0%	○ダンボールは分別し、古紙再生業者に引取実施 ○鉄材は再生業者へ持込 ○廃プラ圧縮し、リサイクル業者に持ち込む。 ○輸入梱包材の木パレットを 釘のない部分を切断し、再資源化 ○製造工程で発生する木材屑(プレナー屑等)は 自社内ボイラー燃料として熱回収及び 循環資源として再生利用 ○事務書類を業者ににて破砕処理し、 再生紙原料にする。	削減目標 13.5% 活動の評価 ○ <table><tr><td>項目(単位:t)</td><td>2012年 (43期)</td><td>2013年 (44期)</td><td>削減率 (%)</td></tr><tr><td rowspan="5">廃棄物</td><td>事務所(紙)</td><td>0</td><td>0</td><td>—</td></tr><tr><td>工場(ダンボール)</td><td>0</td><td>0</td><td>—</td></tr><tr><td>工場(鉄)</td><td>0</td><td>0</td><td>—</td></tr><tr><td>廃プラ</td><td>0</td><td>0</td><td>—</td></tr><tr><td>工場関連(その他)</td><td>27.73</td><td>27.33</td><td>1.4%</td></tr><tr><td>廃棄物計</td><td>27.73</td><td>27.33</td><td>1.4%</td></tr><tr><td>生産量</td><td>3209</td><td>4130</td><td>—</td></tr><tr><td>廃棄物量/生産量</td><td>0.009</td><td>0.007</td><td>23.4%</td></tr></table> ※事務所の一般廃棄物の排出は非常に僅かの為算入していません 総量の目標は未達ですが、生産量あたりの排出量は昨年より改善して います。	項目(単位:t)	2012年 (43期)	2013年 (44期)	削減率 (%)	廃棄物	事務所(紙)	0	0	—	工場(ダンボール)	0	0	—	工場(鉄)	0	0	—	廃プラ	0	0	—	工場関連(その他)	27.73	27.33	1.4%	廃棄物計	27.73	27.33	1.4%	生産量	3209	4130	—	廃棄物量/生産量	0.009	0.007	23.4%	○今まで資源化出来ていなかった物について 再度見直しを検討し削減に努める。
項目(単位:t)	2012年 (43期)	2013年 (44期)	削減率 (%)																																						
廃棄物	事務所(紙)	0	0	—																																					
	工場(ダンボール)	0	0	—																																					
	工場(鉄)	0	0	—																																					
	廃プラ	0	0	—																																					
	工場関連(その他)	27.73	27.33	1.4%																																					
廃棄物計	27.73	27.33	1.4%																																						
生産量	3209	4130	—																																						
廃棄物量/生産量	0.009	0.007	23.4%																																						
総削減水量 目標 38.0%	○ボイラーの給水装置の改善 ○事務所節水の徹底	ボイラーの燃料の木屑を再利用に回し、 余分な蒸気を発生させない様にする。	削減目標 3.6% 活動の評価 ○ <table><tr><td>項目(単位)</td><td>2012年 (43期)</td><td>2013年 (44期)</td><td>削減率 (%)</td></tr><tr><td>総排水量(m)</td><td>4774</td><td>4865</td><td>-1.9%</td></tr><tr><td>生産量(t)</td><td>3209</td><td>4130</td><td>—</td></tr><tr><td>生産量当たり使用量(t/t)</td><td>1.5</td><td>1.2</td><td>20.8%</td></tr></table>	項目(単位)	2012年 (43期)	2013年 (44期)	削減率 (%)	総排水量(m)	4774	4865	-1.9%	生産量(t)	3209	4130	—	生産量当たり使用量(t/t)	1.5	1.2	20.8%	○ボイラーの効率運転に努める。 ○事務所の節水を徹底し、削減に努める。																					
項目(単位)	2012年 (43期)	2013年 (44期)	削減率 (%)																																						
総排水量(m)	4774	4865	-1.9%																																						
生産量(t)	3209	4130	—																																						
生産量当たり使用量(t/t)	1.5	1.2	20.8%																																						
化学物質	○接着剤の使用量を把握し、 生産量あたりの接着剤の使用量を維持する	毎月の接着剤の購入量と在庫を管理	生産量あたりの接着剤の 使用量を維持する 活動の評価 ◎ <table><tr><td>項目(単位)</td><td>2012年 (43期)</td><td>2013年 (44期)</td><td>削減率 (%)</td></tr><tr><td>総量(トン/年)</td><td>21.56</td><td>21.76</td><td>—</td></tr><tr><td>生産量(トン/年)</td><td>3209</td><td>4130</td><td>—</td></tr><tr><td>生産量当たり使用量(t/m3)</td><td>0.007</td><td>0.005</td><td>21.6%</td></tr></table>	項目(単位)	2012年 (43期)	2013年 (44期)	削減率 (%)	総量(トン/年)	21.56	21.76	—	生産量(トン/年)	3209	4130	—	生産量当たり使用量(t/m3)	0.007	0.005	21.6%	○現状の運用を維持する。																					
項目(単位)	2012年 (43期)	2013年 (44期)	削減率 (%)																																						
総量(トン/年)	21.56	21.76	—																																						
生産量(トン/年)	3209	4130	—																																						
生産量当たり使用量(t/m3)	0.007	0.005	21.6%																																						
グリーン購入	○環境配慮製品購入の推進	資材および物品購入時に環境配慮製品の 購入を検討する。	<table><tr><td>目標 1件</td><td rowspan="2">活動の評価 ◎</td></tr><tr><td>実績 1件(以上)</td></tr></table>	目標 1件	活動の評価 ◎	実績 1件(以上)	○認証木材購入の継続に努める。 ○現状の運用を継続する。																																		
目標 1件	活動の評価 ◎																																								
実績 1件(以上)																																									
環境配慮製品	○化粧ばり造作用集成材の原材料に おいて認証材の使用割合10%以上	化粧ばり造作用集成材の原材料発注に際し 認証材の購買を検討する。	化粧ばり造作用集成材の原材料に おいて認証材の使用割合10%以上 活動の評価 ◎ <table><tr><td>項目(単位)</td><td>2012年 (43期)</td><td>2013年 (44期)</td><td>削減率 (%)</td></tr><tr><td>化粧ばり造作用集成材用の 認証材総量(トン/年)</td><td>878</td><td>1030</td><td>—</td></tr><tr><td>化粧ばり造作用集成材用の 原材料総量(トン/年)</td><td>2394</td><td>2499</td><td>—</td></tr><tr><td>認証材使用割合(%)</td><td>36.7%</td><td>41.2%</td><td>—</td></tr></table>	項目(単位)	2012年 (43期)	2013年 (44期)	削減率 (%)	化粧ばり造作用集成材用の 認証材総量(トン/年)	878	1030	—	化粧ばり造作用集成材用の 原材料総量(トン/年)	2394	2499	—	認証材使用割合(%)	36.7%	41.2%	—	○認証木材購入の継続に努める。																					
項目(単位)	2012年 (43期)	2013年 (44期)	削減率 (%)																																						
化粧ばり造作用集成材用の 認証材総量(トン/年)	878	1030	—																																						
化粧ばり造作用集成材用の 原材料総量(トン/年)	2394	2499	—																																						
認証材使用割合(%)	36.7%	41.2%	—																																						

5-2. 田原本工場

		PLAN	DO	CHECK	ACTION																																	
二酸化炭素排出量削減	購入電力削減	○生産性向上による 購入電力の削減を図る ○電灯の効率利用を図る ※田原本工場では二酸化炭素 排出量における購入電力の割合が 高く(2012年度 約92.9%)、購入 電力の削減が最も大きな課題である。	○機械の生産性を上げ、生産の効率化を図る。 ○電灯の節電を実施	削減目標 1.0% 活動の評価 ○ <table><tr><td>項目(単位)</td><td>2012年 (43期)</td><td>2013年 (44期)</td><td>削減率 (%)</td></tr><tr><td>購入電力(kwh)</td><td>1102115</td><td>1075181</td><td>2.4%</td></tr><tr><td>二酸化炭素排出量(kg-CO2)</td><td>495951.8</td><td>483831</td><td>2.4%</td></tr><tr><td>生産量(t)</td><td>7944</td><td>7598</td><td>—</td></tr><tr><td>二酸化炭素排出量/生産量</td><td>62.4</td><td>63.7</td><td>-2.0%</td></tr></table>	項目(単位)	2012年 (43期)	2013年 (44期)	削減率 (%)	購入電力(kwh)	1102115	1075181	2.4%	二酸化炭素排出量(kg-CO2)	495951.8	483831	2.4%	生産量(t)	7944	7598	—	二酸化炭素排出量/生産量	62.4	63.7	-2.0%	○生産体制を見直し、購入電力削減に努める。 ○照明の省エネを検討													
	項目(単位)	2012年 (43期)	2013年 (44期)	削減率 (%)																																		
購入電力(kwh)	1102115	1075181	2.4%																																			
二酸化炭素排出量(kg-CO2)	495951.8	483831	2.4%																																			
生産量(t)	7944	7598	—																																			
二酸化炭素排出量/生産量	62.4	63.7	-2.0%																																			
	化石燃料削減	○「エコドライブ」を推進し、 アイドリングストップに努める。 ○省エネ運転を励行する。 ○電気式フォークリフトの採用	○朝礼等での啓蒙 ○フォークリフトに啓蒙表示 ○電気式フォークリフト1台導入	削減目標 1.0% 活動の評価 ◎ <table><tr><td>項目(単位)</td><td>2012年 (43期)</td><td>2013年 (44期)</td><td>削減率 (%)</td></tr><tr><td>二酸化炭素排出量(kg-CO2)</td><td>38097</td><td>35348</td><td>7.2%</td></tr><tr><td>生産量(t)</td><td>7944</td><td>7598</td><td>—</td></tr><tr><td>二酸化炭素排出量/生産量</td><td>4.80</td><td>4.65</td><td>3.0%</td></tr></table>	項目(単位)	2012年 (43期)	2013年 (44期)	削減率 (%)	二酸化炭素排出量(kg-CO2)	38097	35348	7.2%	生産量(t)	7944	7598	—	二酸化炭素排出量/生産量	4.80	4.65	3.0%	○更なる省エネ運転を目指す。																	
項目(単位)	2012年 (43期)	2013年 (44期)	削減率 (%)																																			
二酸化炭素排出量(kg-CO2)	38097	35348	7.2%																																			
生産量(t)	7944	7598	—																																			
二酸化炭素排出量/生産量	4.80	4.65	3.0%																																			
廃棄物削減	再資源化による推進	廃棄物を分別・再資源化 ○鉄材 ○廃プラ 事務所関連廃棄物の削減	○ダンボールは分別し、古紙再生業者に引取実施 ○鉄材は再生業者へ持込 ○廃プラ圧縮し、リサイクル業者に持ち込む。 ○製造工程で発生する木材屑(プレナー屑等)は 自社内ボイラー燃料として熱回収及び 循環資源として再生利用 ○焼却炉での木屑の単純焼却量を廃止した。	削減目標 45.3% 活動の評価 × <table><tr><td rowspan="7">廃棄物</td><td>項目(単位:t)</td><td>2012年 (43期)</td><td>2013年 (44期)</td><td>削減率 (%)</td></tr><tr><td>木材(プレナー屑)</td><td>0.0</td><td>0.0</td><td>—</td></tr><tr><td>工場(鉄)</td><td>0</td><td>0</td><td>—</td></tr><tr><td>廃プラ</td><td>0</td><td>0</td><td>—</td></tr><tr><td>工場関連(その他)</td><td>29.3</td><td>50.5</td><td>-72.6%</td></tr><tr><td>廃棄物計</td><td>29.3</td><td>50.5</td><td>-72.6%</td></tr><tr><td>生産量</td><td>7944</td><td>7598</td><td>—</td></tr><tr><td>廃棄物量/生産量</td><td>0.004</td><td>0.007</td><td>-80.5%</td></tr></table> ※事務所の一般廃棄物は工場関連(その他)に含まれています。	廃棄物	項目(単位:t)	2012年 (43期)	2013年 (44期)	削減率 (%)	木材(プレナー屑)	0.0	0.0	—	工場(鉄)	0	0	—	廃プラ	0	0	—	工場関連(その他)	29.3	50.5	-72.6%	廃棄物計	29.3	50.5	-72.6%	生産量	7944	7598	—	廃棄物量/生産量	0.004	0.007	-80.5%	○木材(プレナー屑)のリサイクルを さらに推し進める。
廃棄物	項目(単位:t)	2012年 (43期)	2013年 (44期)	削減率 (%)																																		
	木材(プレナー屑)	0.0	0.0	—																																		
	工場(鉄)	0	0	—																																		
	廃プラ	0	0	—																																		
	工場関連(その他)	29.3	50.5	-72.6%																																		
	廃棄物計	29.3	50.5	-72.6%																																		
	生産量	7944	7598	—																																		
廃棄物量/生産量	0.004	0.007	-80.5%																																			
総削減水量		○人工乾燥作業の生産性向上 ○事務所節水の徹底	○夏・冬で蒸気配管バルブの開閉を見直し実施 ○ボイラーの運転時間を夏・冬で見直し実施 ○人工乾燥に使用していた蒸気をボイラーの 給水タンクにもどす	削減目標 1.6% 活動の評価 × <table><tr><td>項目(単位)</td><td>2012年 (43期)</td><td>2013年 (44期)</td><td>削減率 (%)</td></tr><tr><td>総排水量(m)</td><td>3658</td><td>3787</td><td>-3.5%</td></tr><tr><td>生産量(t)</td><td>7944</td><td>7598</td><td>—</td></tr><tr><td>総排水量/生産量(m/t)</td><td>0.5</td><td>0.5</td><td>-8.2%</td></tr></table>	項目(単位)	2012年 (43期)	2013年 (44期)	削減率 (%)	総排水量(m)	3658	3787	-3.5%	生産量(t)	7944	7598	—	総排水量/生産量(m/t)	0.5	0.5	-8.2%	○焼却炉の燃焼量を少なくして 使用水量を削減する。																	
項目(単位)	2012年 (43期)	2013年 (44期)	削減率 (%)																																			
総排水量(m)	3658	3787	-3.5%																																			
生産量(t)	7944	7598	—																																			
総排水量/生産量(m/t)	0.5	0.5	-8.2%																																			
化学物質		○接着剤の使用量を把握し、 生産量あたりの接着剤の使用量を維持する	毎月の接着剤の購入量と在庫を管理	生産量あたりの接着剤の 使用量を維持する 活動の評価 ◎ <table><tr><td>項目(単位)</td><td>2012年 (43期)</td><td>2013年 (44期)</td><td>削減率 (%)</td></tr><tr><td>総量(トン/年)</td><td>220.97</td><td>186.31</td><td>—</td></tr><tr><td>生産量(トン/年)</td><td>7944</td><td>7598</td><td>—</td></tr><tr><td>生産量当たり使用量(t/t)</td><td>0.028</td><td>0.025</td><td>11.8%</td></tr></table>	項目(単位)	2012年 (43期)	2013年 (44期)	削減率 (%)	総量(トン/年)	220.97	186.31	—	生産量(トン/年)	7944	7598	—	生産量当たり使用量(t/t)	0.028	0.025	11.8%	○現状の運用を維持する。																	
項目(単位)	2012年 (43期)	2013年 (44期)	削減率 (%)																																			
総量(トン/年)	220.97	186.31	—																																			
生産量(トン/年)	7944	7598	—																																			
生産量当たり使用量(t/t)	0.028	0.025	11.8%																																			
グリーン購入		○環境配慮製品購入の推進	資材および物品購入時に環境配慮製品の 購入を検討する。	目標 1件 活動の評価 ◎ 実績 1件	○現状の運用を継続する。																																	
環境配慮製品		○化粧ばり造作用集成材の原材料に おいて認証材の使用割合10%以上	該当製品の製造なし	化粧ばり造作用集成材の原材料に おいて認証材の使用割合10%以上 活動の評価 なし <table><tr><td>項目(単位)</td><td>2012年 (43期)</td><td>2013年 (44期)</td><td>削減率 (%)</td></tr><tr><td>化粧ばり造作用集成材用の 認証材総量(トン/年)</td><td>0</td><td>0</td><td>—</td></tr><tr><td>化粧ばり造作用集成材用の 原材料総量(トン/年)</td><td>0</td><td>0</td><td>—</td></tr><tr><td>認証材使用割合(%)</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td></tr></table>	項目(単位)	2012年 (43期)	2013年 (44期)	削減率 (%)	化粧ばり造作用集成材用の 認証材総量(トン/年)	0	0	—	化粧ばり造作用集成材用の 原材料総量(トン/年)	0	0	—	認証材使用割合(%)	—	—	—	○2013年度は対象製品の生産はありませんでした。																	
項目(単位)	2012年 (43期)	2013年 (44期)	削減率 (%)																																			
化粧ばり造作用集成材用の 認証材総量(トン/年)	0	0	—																																			
化粧ばり造作用集成材用の 原材料総量(トン/年)	0	0	—																																			
認証材使用割合(%)	—	—	—																																			

5-3. 五條工場

PLAN		DO	CHECK	ACTION
二酸化炭素排出量削減	購入削減電力 目標 35.7%	○生産性向上による 購入電力の削減を図る ※五條工場では二酸化炭素排出量における購入電力の割合は約76.4% (2012年度)	○機械の生産性を上げ、生産の効率化を図る。 ○電灯の節電を実施	○各生産設備の生産性を上げることで 生産量あたりの二酸化炭素排出量を削減する。 ○照明の省エネを検討
	化石燃料削減 目標 54.3%	○「エコドライブ」を推進し、 アイドリングストップに努める。 ○省エネ運転を励行する。 ○電気式フォークリフトの入替導入 人工乾燥の効率化を図る。	○朝礼等での啓蒙 ○フォークリフトに啓蒙表示 ○電気式フォークリフト2台入替導入 ○灯油ボイラーによる人工乾燥方法の変更を検討	○人工乾燥の前に天然乾燥を十分することで ボイラーの灯油使用量を削減する。
廃棄物削減	再資源別化による推進 目標 0.5%	廃棄物を分別・再資源化 ○鉄材 ○廃プラ 事務所関連廃棄物の削減	○ダンボールは分別し、古紙再生業者に引取実施 ○鉄材は再生業者へ持込 ○廃プラ圧縮し、リサイクル業者に持ち込む。 ○製造工程で発生する木材屑(プレナー屑等)は 自社内ボイラー燃料として熱回収及び 循環資源として再生利用	○来期はパレット等工場関連廃棄物の 資源化を進める。
	総削減水量 目標 42.9%	○人工乾燥作業の生産性向上 ○事務所節水の徹底 ※五條工場ではラミナ(製品を構成する 板)を乾燥するためのボイラーに水を 使用している。 (※ラミナとは製品を構成する板材のこと)	○水道水使用量を毎月確認する。	○人工乾燥の前に天然乾燥を十分することで ボイラー使用水の削減する。 ○人工乾燥時の木屑焚きボイラーの蒸気を 効率運用する。
化学物質		○接着剤の使用量を把握し、 生産量あたりの接着剤の使用量を維持する	毎月の接着剤の購入量と在庫を管理	○現状の運用を維持する。
グリーン購入		○環境配慮製品購入の推進	資材および物品購入時に環境配慮製品の 購入を検討する。	○
環境配慮		○化粧ばり造作用集成材の原材料に おいて認証材の使用割合10%以上	該当製品の製造なし	2013年度は対象製品の生産はありませんでした。

削減目標 1.0%		活動の評価 ×		
項目(単位)	2012年 (43期)	2013年 (44期)	削減率 (%)	
購入電力(kwh)	810167	883391	-9.0%	
二酸化炭素排出量(kg-CO2)	364575.2	397526	-9.0%	
生産量(t)	7565	7402	-	
二酸化炭素排出量/生産量	48.2	53.7	-11.4%	

削減目標 1.0%		活動の評価 ×		
項目(単位)	2012年 (43期)	2013年 (44期)	削減率 (%)	
二酸化炭素排出量(kg-CO2)	112848.6	201044	-78.2%	
生産量(t)	7565	7402	-	
二酸化炭素排出量/生産量	14.92	27.16	-82.1%	

削減目標 2.7%		活動の評価 ×		
項目(単位:t)	2012年 (43期)	2013年 (44期)	削減率 (%)	
廃棄物	工場(鉄)	0	0	-
	廃プラ	0	0	-
	工場関連(その他)	3.7	6.8	-83.8%
	廃棄物計	3.7	6.8	-83.8%
生産量	7565	7402	-	
廃棄物量/生産量	0.0005	0.0009	-87.8%	

※事務所の一般廃棄物の排出は非常に僅かの為算入していません
(補足説明)
基準年(2006年)の廃棄物排出量は本来2006年度に
排出されるはずの廃棄物4.26tが2007年に処理された為、
本来より低い数値となっている。

削減目標 0.0%		活動の評価 ×		
項目(単位)	2012年 (43期)	2013年 (44期)	削減率 (%)	
総排水量(m)	3085	4222	-36.9%	
生産量(t)	7565	7402	-	
総排水量/生産量(m/t)	0.4078	0.5704	-39.9%	

生産量あたりの接着剤の 使用量を維持する		活動の評価 ×		
項目(単位)	2012年 (43期)	2013年 (44期)	削減率 (%)	
総量(トン/年)	35.88	46.96	-	
生産量(トン/年)	7565	7402	-	
生産量当たり使用量(t/t)	0.005	0.006	-33.8%	

目標 1件	活動の評価 ◎		
実績 1件			

削減目標 なし		活動の評価 なし		
項目(単位)	2012年 (43期)	2013年 (44期)	削減率 (%)	
化粧ばり造作用集成材用の 認証材総量(トン/年)	0	0	-	
化粧ばり造作用集成材用の 原材料総量(トン/年)	0	0	-	
認証材使用割合(%)	-	-	-	

5-4. 特販部

		PLAN	DO	CHECK	ACTION																																	
二酸化炭素排出量削減	購入電力削減	○電灯の効率利用を図る	○電灯の節電を実施 ○空調温度管理を実施	削減目標 1.0% 活動の評価 ○ <table><tr><td>項目(単位)</td><td>2012年 (43期)</td><td>2013年 (44期)</td><td>削減率 (%)</td></tr><tr><td>二酸化炭素排出量(kg-CO2)</td><td>15097.5</td><td>15741</td><td>-4.3%</td></tr><tr><td>販売量(t)</td><td>2604</td><td>3195</td><td>—</td></tr><tr><td>二酸化炭素排出量/販売量</td><td>5.80</td><td>4.93</td><td>15.0%</td></tr></table>	項目(単位)	2012年 (43期)	2013年 (44期)	削減率 (%)	二酸化炭素排出量(kg-CO2)	15097.5	15741	-4.3%	販売量(t)	2604	3195	—	二酸化炭素排出量/販売量	5.80	4.93	15.0%	○活動継続																	
	項目(単位)	2012年 (43期)	2013年 (44期)	削減率 (%)																																		
二酸化炭素排出量(kg-CO2)	15097.5	15741	-4.3%																																			
販売量(t)	2604	3195	—																																			
二酸化炭素排出量/販売量	5.80	4.93	15.0%																																			
	化石燃料使用量削減	○「エコドライブ」を推進し、 アイドリングストップに努める。 ○省エネ運転を励行する。	○「エコドライブ」を実践 ○積み込み時アイドリングストップを実施	削減目標 1.0% 活動の評価 × <table><tr><td>項目(単位)</td><td>2012年 (43期)</td><td>2013年 (44期)</td><td>削減率 (%)</td></tr><tr><td>二酸化炭素排出量(kg-CO2)</td><td>3722</td><td>5132</td><td>-37.9%</td></tr><tr><td>販売量(t)</td><td>2604</td><td>3195</td><td>—</td></tr><tr><td>二酸化炭素排出量/販売量</td><td>1.43</td><td>1.61</td><td>-12.4%</td></tr></table>	項目(単位)	2012年 (43期)	2013年 (44期)	削減率 (%)	二酸化炭素排出量(kg-CO2)	3722	5132	-37.9%	販売量(t)	2604	3195	—	二酸化炭素排出量/販売量	1.43	1.61	-12.4%	○活動継続																	
項目(単位)	2012年 (43期)	2013年 (44期)	削減率 (%)																																			
二酸化炭素排出量(kg-CO2)	3722	5132	-37.9%																																			
販売量(t)	2604	3195	—																																			
二酸化炭素排出量/販売量	1.43	1.61	-12.4%																																			
廃棄物削減	分別による資源化の推進	廃棄物を分別・再資源化 事務所関連廃棄物の削減	○ダンボールは分別し、古紙再生業者に引取実施 ○紙類はボイラーの燃料にする ○廃プラをリサイクル業者に引き取ってもらう。	削減目標 2.0% 活動の評価 × <table><tr><td>項目(単位:t)</td><td>2012年 (43期)</td><td>2013年 (44期)</td><td>削減率 (%)</td></tr><tr><td rowspan="5">廃棄物</td><td>段ボール</td><td>0.0</td><td>0.0</td><td>—</td></tr><tr><td>紙類</td><td>0</td><td>0</td><td>—</td></tr><tr><td>廃プラ</td><td>0</td><td>0</td><td>—</td></tr><tr><td>その他</td><td>4.0</td><td>8.0</td><td>-100.0%</td></tr><tr><td>廃棄物計</td><td>4.0</td><td>8.0</td><td>-100.0%</td></tr><tr><td>販売量(t)</td><td>2604</td><td>3195</td><td>—</td></tr><tr><td>廃棄物排出量/販売量</td><td>0.00</td><td>0.00</td><td>-63.0%</td></tr></table>	項目(単位:t)	2012年 (43期)	2013年 (44期)	削減率 (%)	廃棄物	段ボール	0.0	0.0	—	紙類	0	0	—	廃プラ	0	0	—	その他	4.0	8.0	-100.0%	廃棄物計	4.0	8.0	-100.0%	販売量(t)	2604	3195	—	廃棄物排出量/販売量	0.00	0.00	-63.0%	○活動継続
				項目(単位:t)	2012年 (43期)	2013年 (44期)	削減率 (%)																															
廃棄物	段ボール	0.0	0.0	—																																		
	紙類	0	0	—																																		
	廃プラ	0	0	—																																		
	その他	4.0	8.0	-100.0%																																		
	廃棄物計	4.0	8.0	-100.0%																																		
販売量(t)	2604	3195	—																																			
廃棄物排出量/販売量	0.00	0.00	-63.0%																																			
総削減水量	○事務所節水の徹底	○節水を啓蒙する	削減目標 1.0% 活動の評価 ○ <table><tr><td>項目(単位)</td><td>2012年 (43期)</td><td>2013年 (44期)</td><td>削減率 (%)</td></tr><tr><td>総排水量(m)</td><td>24</td><td>27</td><td>-12.5%</td></tr><tr><td>販売量(t)</td><td>2604</td><td>3195</td><td>—</td></tr><tr><td>総排水量/販売量</td><td>0.01</td><td>0.01</td><td>8.3%</td></tr></table>	項目(単位)	2012年 (43期)	2013年 (44期)	削減率 (%)	総排水量(m)	24	27	-12.5%	販売量(t)	2604	3195	—	総排水量/販売量	0.01	0.01	8.3%	○活動継続																		
項目(単位)	2012年 (43期)	2013年 (44期)	削減率 (%)																																			
総排水量(m)	24	27	-12.5%																																			
販売量(t)	2604	3195	—																																			
総排水量/販売量	0.01	0.01	8.3%																																			
物化質学	○接着剤の使用量を把握し、 生産量あたりの接着剤の使用量を維持する		活動の評価 該当なし																																			
グリーン購入	○環境配慮製品購入の推進	資材および物品購入時に環境配慮製品の購入を検討する。	<table><tr><td>目標 1件</td><td rowspan="2">活動の評価 ◎</td></tr><tr><td>実績 1件</td></tr></table>	目標 1件	活動の評価 ◎	実績 1件	○現状の運用を継続する。																															
目標 1件	活動の評価 ◎																																					
実績 1件																																						
製品環境	○化粧ばり造作用集成材の原材料に おいて認証材の使用割合10%以上		活動の評価 該当なし																																			

5-5. 東京支店

		PLAN	DO	CHECK	ACTION																																	
二酸化炭素排出量削減	購入電力削減	○電灯の効率利用を図る	○電灯の節電を実施 ○空調温度管理を実施	削減目標 1.0% 活動の評価 ○ <table><tr><td>項目(単位)</td><td>2012年 (43期)</td><td>2013年 (44期)</td><td>削減率 (%)</td></tr><tr><td>二酸化炭素排出量(kg-CO2)</td><td>3100</td><td>3699</td><td>-19.3%</td></tr><tr><td>販売量(t)</td><td>5446</td><td>6691</td><td>—</td></tr><tr><td>二酸化炭素排出量/販売量</td><td>0.57</td><td>0.55</td><td>2.9%</td></tr></table>	項目(単位)	2012年 (43期)	2013年 (44期)	削減率 (%)	二酸化炭素排出量(kg-CO2)	3100	3699	-19.3%	販売量(t)	5446	6691	—	二酸化炭素排出量/販売量	0.57	0.55	2.9%	○活動継続																	
	項目(単位)	2012年 (43期)	2013年 (44期)	削減率 (%)																																		
二酸化炭素排出量(kg-CO2)	3100	3699	-19.3%																																			
販売量(t)	5446	6691	—																																			
二酸化炭素排出量/販売量	0.57	0.55	2.9%																																			
	化石燃料削減	○「エコドライブ」を推進し、 アイドリングストップに努める。 ○省エネ運転を励行する。	○「エコドライブ」を実践	削減目標 1.0% 活動の評価 ◎ <table><tr><td>項目(単位)</td><td>2012年 (43期)</td><td>2013年 (44期)</td><td>削減率 (%)</td></tr><tr><td>二酸化炭素排出量(kg-CO2)</td><td>11838</td><td>8790</td><td>25.7%</td></tr><tr><td>販売量(t)</td><td>5446</td><td>6691</td><td>—</td></tr><tr><td>二酸化炭素排出量/販売量</td><td>2.17</td><td>1.31</td><td>39.6%</td></tr></table>	項目(単位)	2012年 (43期)	2013年 (44期)	削減率 (%)	二酸化炭素排出量(kg-CO2)	11838	8790	25.7%	販売量(t)	5446	6691	—	二酸化炭素排出量/販売量	2.17	1.31	39.6%	○活動継続																	
項目(単位)	2012年 (43期)	2013年 (44期)	削減率 (%)																																			
二酸化炭素排出量(kg-CO2)	11838	8790	25.7%																																			
販売量(t)	5446	6691	—																																			
二酸化炭素排出量/販売量	2.17	1.31	39.6%																																			
廃棄物削減	再資源化による推進	廃棄物を分別・再資源化 事務所関連廃棄物の削減	○資源ごみの分別の徹底	削減目標 2.0% 活動の評価 ○ <table><tr><td rowspan="7">廃棄物</td><td>項目(単位:t)</td><td>2012年 (43期)</td><td>2013年 (44期)</td><td>削減率 (%)</td></tr><tr><td>段ボール</td><td>0.0</td><td>0.0</td><td>—</td></tr><tr><td>紙類</td><td>0</td><td>0</td><td>—</td></tr><tr><td>廃プラ</td><td>0</td><td>0</td><td>—</td></tr><tr><td>その他</td><td>1.0</td><td>1.2</td><td>-18.0%</td></tr><tr><td>廃棄物計</td><td>1.0</td><td>1.2</td><td>-18.0%</td></tr><tr><td>販売量(t)</td><td>5446</td><td>6691</td><td></td></tr><tr><td>廃棄物排出量/販売量</td><td>0.0002</td><td>0.0002</td><td>4.0%</td></tr></table>	廃棄物	項目(単位:t)	2012年 (43期)	2013年 (44期)	削減率 (%)	段ボール	0.0	0.0	—	紙類	0	0	—	廃プラ	0	0	—	その他	1.0	1.2	-18.0%	廃棄物計	1.0	1.2	-18.0%	販売量(t)	5446	6691		廃棄物排出量/販売量	0.0002	0.0002	4.0%	○活動継続
		廃棄物	項目(単位:t)	2012年 (43期)		2013年 (44期)	削減率 (%)																															
段ボール	0.0		0.0	—																																		
紙類	0		0	—																																		
廃プラ	0		0	—																																		
その他	1.0		1.2	-18.0%																																		
廃棄物計	1.0		1.2	-18.0%																																		
販売量(t)	5446		6691																																			
廃棄物排出量/販売量	0.0002	0.0002	4.0%																																			
総削減水量	○事務所節水の徹底	○節水を啓蒙する	削減目標 1.0% 活動の評価 ○ <table><tr><td>項目(単位)</td><td>2012年 (43期)</td><td>2013年 (44期)</td><td>削減率 (%)</td></tr><tr><td>総排水量(m)</td><td>49</td><td>51</td><td>-4.1%</td></tr><tr><td>販売量(t)</td><td>5446</td><td>6691</td><td>—</td></tr><tr><td>総排水量/販売量</td><td>0.01</td><td>0.01</td><td>15.3%</td></tr></table>	項目(単位)	2012年 (43期)	2013年 (44期)	削減率 (%)	総排水量(m)	49	51	-4.1%	販売量(t)	5446	6691	—	総排水量/販売量	0.01	0.01	15.3%	○活動継続																		
項目(単位)	2012年 (43期)	2013年 (44期)	削減率 (%)																																			
総排水量(m)	49	51	-4.1%																																			
販売量(t)	5446	6691	—																																			
総排水量/販売量	0.01	0.01	15.3%																																			
物化質学	○接着剤の使用量を把握し、 生産量あたりの接着剤の使用量を維持する		活動の評価 該当なし																																			
グリーン購入	○環境配慮製品購入の推進	資材および物品購入時に環境配慮製品の 購入を検討する。	<table><tr><td>目標 1件</td></tr><tr><td>実績 1件</td></tr></table> 活動の評価 ◎	目標 1件	実績 1件	○現状の運用を継続する。																																
目標 1件																																						
実績 1件																																						
製品環境	○化粧ばり造作用集材の原材料に おいて認証材の使用割合10%以上		活動の評価 該当なし																																			

5-6. 札幌支店

		PLAN	DO	CHECK	ACTION																																	
二酸化炭素排出量削減	購入電力削減	○電灯の効率利用を図る	○電灯の節電を実施 ○空調温度管理を実施	削減目標 1.0% 活動の評価 ○ <table><tr><td>項目(単位)</td><td>2012年 (43期)</td><td>2013年 (44期)</td><td>削減率 (%)</td></tr><tr><td>二酸化炭素排出量(kg-CO2)</td><td>5510.6</td><td>5889</td><td>-6.9%</td></tr><tr><td>販売量(t)</td><td>12750</td><td>16265</td><td>—</td></tr><tr><td>二酸化炭素排出量/販売量</td><td>0.43</td><td>0.36</td><td>16.2%</td></tr></table>	項目(単位)	2012年 (43期)	2013年 (44期)	削減率 (%)	二酸化炭素排出量(kg-CO2)	5510.6	5889	-6.9%	販売量(t)	12750	16265	—	二酸化炭素排出量/販売量	0.43	0.36	16.2%	○活動継続																	
	項目(単位)	2012年 (43期)	2013年 (44期)	削減率 (%)																																		
二酸化炭素排出量(kg-CO2)	5510.6	5889	-6.9%																																			
販売量(t)	12750	16265	—																																			
二酸化炭素排出量/販売量	0.43	0.36	16.2%																																			
	化石燃料削減	○「エコドライブ」を推進し、 アイドリングストップに努める。 ○省エネ運転を励行する。	○「エコドライブ」を実践	削減目標 1.0% 活動の評価 ◎ <table><tr><td>項目(単位)</td><td>2012年 (43期)</td><td>2013年 (44期)</td><td>削減率 (%)</td></tr><tr><td>二酸化炭素排出量(kg-CO2)</td><td>16570</td><td>10847</td><td>34.5%</td></tr><tr><td>販売量(t)</td><td>12750</td><td>16265</td><td>—</td></tr><tr><td>二酸化炭素排出量/販売量</td><td>1.30</td><td>0.67</td><td>48.7%</td></tr></table>	項目(単位)	2012年 (43期)	2013年 (44期)	削減率 (%)	二酸化炭素排出量(kg-CO2)	16570	10847	34.5%	販売量(t)	12750	16265	—	二酸化炭素排出量/販売量	1.30	0.67	48.7%	○活動継続																	
項目(単位)	2012年 (43期)	2013年 (44期)	削減率 (%)																																			
二酸化炭素排出量(kg-CO2)	16570	10847	34.5%																																			
販売量(t)	12750	16265	—																																			
二酸化炭素排出量/販売量	1.30	0.67	48.7%																																			
廃棄物削減	再資源化による分別の推進	廃棄物を分別・再資源化 事務所関連廃棄物の削減	○資源ごみの分別の徹底	削減目標 5.0% 活動の評価 ◎ <table><tr><td>項目(単位:t)</td><td>2012年 (43期)</td><td>2013年 (44期)</td><td>削減率 (%)</td></tr><tr><td rowspan="5">廃棄物</td><td>段ボール</td><td>0.0</td><td>0.0</td><td>—</td></tr><tr><td>紙類</td><td>0</td><td>0</td><td>—</td></tr><tr><td>廃プラ</td><td>0</td><td>0</td><td>—</td></tr><tr><td>その他</td><td>2.4</td><td>2.1</td><td>11.2%</td></tr><tr><td>廃棄物計</td><td>2.4</td><td>2.1</td><td>11.2%</td></tr><tr><td>販売量(t)</td><td>12750</td><td>16265</td><td>—</td></tr><tr><td>廃棄物排出量/販売量</td><td>0.0002</td><td>0.0001</td><td>30.4%</td></tr></table>	項目(単位:t)	2012年 (43期)	2013年 (44期)	削減率 (%)	廃棄物	段ボール	0.0	0.0	—	紙類	0	0	—	廃プラ	0	0	—	その他	2.4	2.1	11.2%	廃棄物計	2.4	2.1	11.2%	販売量(t)	12750	16265	—	廃棄物排出量/販売量	0.0002	0.0001	30.4%	○活動継続
		項目(単位:t)	2012年 (43期)	2013年 (44期)	削減率 (%)																																	
廃棄物	段ボール	0.0	0.0	—																																		
	紙類	0	0	—																																		
	廃プラ	0	0	—																																		
	その他	2.4	2.1	11.2%																																		
	廃棄物計	2.4	2.1	11.2%																																		
販売量(t)	12750	16265	—																																			
廃棄物排出量/販売量	0.0002	0.0001	30.4%																																			
総削減水量	○事務所節水の徹底	○節水を啓蒙する	削減目標 1.0% 活動の評価 ◎ <table><tr><td>項目(単位)</td><td>2012年 (43期)</td><td>2013年 (44期)</td><td>削減率 (%)</td></tr><tr><td>総排水量(m)</td><td>61</td><td>41</td><td>32.8%</td></tr><tr><td>販売量(t)</td><td>12750</td><td>16265</td><td>—</td></tr><tr><td>総排水量/販売量</td><td>0.00</td><td>0.00</td><td>47.3%</td></tr></table>	項目(単位)	2012年 (43期)	2013年 (44期)	削減率 (%)	総排水量(m)	61	41	32.8%	販売量(t)	12750	16265	—	総排水量/販売量	0.00	0.00	47.3%	○活動継続																		
項目(単位)	2012年 (43期)	2013年 (44期)	削減率 (%)																																			
総排水量(m)	61	41	32.8%																																			
販売量(t)	12750	16265	—																																			
総排水量/販売量	0.00	0.00	47.3%																																			
物化質学	○接着剤の使用量を把握し、 生産量あたりの接着剤の使用量を維持する		活動の評価 該当なし																																			
グリーン購入	○環境配慮製品購入の推進	資材および物品購入時に環境配慮製品の購入を検討する。	<table><tr><td>目標 1件</td><td rowspan="2">活動の評価 ◎</td></tr><tr><td>実績 1件</td></tr></table>	目標 1件	活動の評価 ◎	実績 1件	○現状の運用を継続する。																															
目標 1件	活動の評価 ◎																																					
実績 1件																																						
製配環境配慮	○化粧ばり造作用集成材の原材料に おいて認証材の使用割合10%以上		活動の評価 該当なし																																			

5-7. 福岡営業所

		PLAN	DO	CHECK	ACTION																																	
二酸化炭素排出量削減	購入電力削減	○電灯の効率利用を図る	○電灯の節電を実施 ○空調温度管理を実施	削減目標 1.0% 活動の評価 ◎ <table><tr><td>項目(単位)</td><td>2012年 (43期)</td><td>2013年 (44期)</td><td>削減率 (%)</td></tr><tr><td>二酸化炭素排出量(kg-CO2)</td><td>7970.6</td><td>7790</td><td>2.3%</td></tr><tr><td>販売量(t)</td><td>7164</td><td>7706</td><td>—</td></tr><tr><td>二酸化炭素排出量/販売量</td><td>1.11</td><td>1.01</td><td>9.1%</td></tr></table>	項目(単位)	2012年 (43期)	2013年 (44期)	削減率 (%)	二酸化炭素排出量(kg-CO2)	7970.6	7790	2.3%	販売量(t)	7164	7706	—	二酸化炭素排出量/販売量	1.11	1.01	9.1%	○活動継続																	
	項目(単位)	2012年 (43期)	2013年 (44期)	削減率 (%)																																		
二酸化炭素排出量(kg-CO2)	7970.6	7790	2.3%																																			
販売量(t)	7164	7706	—																																			
二酸化炭素排出量/販売量	1.11	1.01	9.1%																																			
	化石燃料削減	○「エコドライブ」を推進し、 アイドリングストップに努める。 ○省エネ運転を励行する。	○「エコドライブ」を実践 ○積み込み時アイドリングストップを実施	削減目標 1.0% 活動の評価 ◎ <table><tr><td>項目(単位)</td><td>2012年 (43期)</td><td>2013年 (44期)</td><td>削減率 (%)</td></tr><tr><td>二酸化炭素排出量(kg-CO2)</td><td>20106</td><td>18819</td><td>6.4%</td></tr><tr><td>販売量(t)</td><td>7164</td><td>7706</td><td>—</td></tr><tr><td>二酸化炭素排出量/販売量</td><td>2.81</td><td>2.44</td><td>13.0%</td></tr></table>	項目(単位)	2012年 (43期)	2013年 (44期)	削減率 (%)	二酸化炭素排出量(kg-CO2)	20106	18819	6.4%	販売量(t)	7164	7706	—	二酸化炭素排出量/販売量	2.81	2.44	13.0%	○活動継続																	
項目(単位)	2012年 (43期)	2013年 (44期)	削減率 (%)																																			
二酸化炭素排出量(kg-CO2)	20106	18819	6.4%																																			
販売量(t)	7164	7706	—																																			
二酸化炭素排出量/販売量	2.81	2.44	13.0%																																			
廃棄物削減	再資源化による推進	廃棄物を分別・再資源化 事務所関連廃棄物の削減	○ダンボールは分別し、古紙再生業者に引取実施 ○木屑を農家用資源に利用	削減目標 2.0% 活動の評価 ◎ <table><tr><td rowspan="7">廃棄物</td><td>項目(単位:t)</td><td>2012年 (43期)</td><td>2013年 (44期)</td><td>削減率 (%)</td></tr><tr><td>段ボール</td><td>0.0</td><td>0.0</td><td>—</td></tr><tr><td>紙類</td><td>0</td><td>0</td><td>—</td></tr><tr><td>廃プラ</td><td>0</td><td>0</td><td>—</td></tr><tr><td>その他</td><td>0.79</td><td>0.28</td><td>64.6%</td></tr><tr><td>廃棄物計</td><td>0.79</td><td>0.28</td><td>64.6%</td></tr><tr><td>販売量(t)</td><td>7164</td><td>7706</td><td>—</td></tr><tr><td>廃棄物排出量/販売量</td><td>0.0001</td><td>0.0000</td><td>67.0%</td></tr></table>	廃棄物	項目(単位:t)	2012年 (43期)	2013年 (44期)	削減率 (%)	段ボール	0.0	0.0	—	紙類	0	0	—	廃プラ	0	0	—	その他	0.79	0.28	64.6%	廃棄物計	0.79	0.28	64.6%	販売量(t)	7164	7706	—	廃棄物排出量/販売量	0.0001	0.0000	67.0%	○活動継続
		廃棄物	項目(単位:t)	2012年 (43期)		2013年 (44期)	削減率 (%)																															
段ボール	0.0		0.0	—																																		
紙類	0		0	—																																		
廃プラ	0		0	—																																		
その他	0.79		0.28	64.6%																																		
廃棄物計	0.79		0.28	64.6%																																		
販売量(t)	7164		7706	—																																		
廃棄物排出量/販売量	0.0001	0.0000	67.0%																																			
総削減水量	○事務所節水の徹底	○節水を啓蒙する	削減目標 1.0% 活動の評価 × <table><tr><td>項目(単位)</td><td>2012年 (43期)</td><td>2013年 (44期)</td><td>削減率 (%)</td></tr><tr><td>総排水量(m)</td><td>91</td><td>100</td><td>-9.9%</td></tr><tr><td>販売量(t)</td><td>7164</td><td>7706</td><td>—</td></tr><tr><td>総排水量/販売量</td><td>0.01</td><td>0.01</td><td>-2.2%</td></tr></table>	項目(単位)	2012年 (43期)	2013年 (44期)	削減率 (%)	総排水量(m)	91	100	-9.9%	販売量(t)	7164	7706	—	総排水量/販売量	0.01	0.01	-2.2%	○活動継続																		
項目(単位)	2012年 (43期)	2013年 (44期)	削減率 (%)																																			
総排水量(m)	91	100	-9.9%																																			
販売量(t)	7164	7706	—																																			
総排水量/販売量	0.01	0.01	-2.2%																																			
物化質学		○接着剤の使用量を把握し、 生産量あたりの接着剤の使用量を維持する		活動の評価 該当なし																																		
グリーン購入		○環境配慮製品購入の推進	資材および物品購入時に環境配慮製品の購入を検討する。	<table><tr><td>目標 1件</td><td rowspan="2">活動の評価 ◎</td></tr><tr><td>実績 1件</td></tr></table>	目標 1件	活動の評価 ◎	実績 1件	○現状の運用を継続する。																														
目標 1件	活動の評価 ◎																																					
実績 1件																																						
製配環境		○化粧ばり造作用集成材の原材料に おいて認証材の使用割合10%以上		活動の評価 該当なし																																		

6. 環境関連法規への違反、訴訟等の有無

当社に関連する環境関連法規は次の通りです

①本社・新住工場

環境関連法	主要な設備等	遵守
大気汚染防止法	ボイラー	○
騒音規制法	木材加工機 コンプレッサー	○
振動規制法	コンプレッサー	○
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	産業廃棄物	○
消防法	木材加工品 木屑	○
化学物質排出把握管理促進法(PRTR法)	第1種指定化学物質	○
NOxPM法	トラック	○
フロン回収破壊法	業務用エアコン	○

②田原本工場

環境関連法	主要な設備等	遵守
大気汚染防止法	ボイラー	○
騒音規制法	木材加工機 コンプレッサー	○
振動規制法	コンプレッサー	○
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	産業廃棄物	○
消防法	木材加工品 木屑	○
化学物質排出把握管理促進法(PRTR法)	第1種指定化学物質	○
フロン回収破壊法	業務用エアコン	○

③五條工場

環境関連法	主要な設備等	遵守
大気汚染防止法	ボイラー	○
騒音規制法	木材加工機 コンプレッサー	○
振動規制法	コンプレッサー	○
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	産業廃棄物	○
消防法	木材加工品 木屑	○
化学物質排出把握管理促進法(PRTR法)	第1種指定化学物質	○
フロン回収破壊法	業務用エアコン	○

拡大4事業所を含め過去3年間、関係当局より違反の指摘はありません。
環境関連法規について自主的に見直した結果、不備はありませんでした。

7. 代表者による全体評価と見直しの結果

拡大4事業所を含めた環境マネジメントシステムの運用が
1年を経過しました。

今年度は受注増に伴い生産・販売量が増えCO2排出量、
廃棄物排出量、総排水量ともに総量で増加となりましたが、
CO2排出量、総排水量においては生産量当たりの排出量で
目標は達成できました。

廃棄物排出量については目標未達に終わりましたので、
来期には目標達成できるよう活動を継続致します。

平成26年 2月 1日 代表取締役社長 貝本 隆三

次回の環境レポートは平成27年3月の予定です。